

第 3 回文化芸術審議会における意見の対応について

第 3 回審議会にてご意見等のあった点について、下記のとおり対応します。

ご意見 1

基本目標 1-施策 1-②「ニーズの掘り起こしによる文化芸術の情報収集・発信の充実」の利用者アンケート調査は聴取方法・分析方法等検討し、真に CS（満足度）調査となるように実施してほしい。

【対応】

定期的に基本調査を実施する。事業及び次期計画に反映できるように調査方法を研究する。

ご意見 2

文化芸術活動団体の活動案内等の情報発信について改善・充実してほしい。

【対応】

基本目標 1-施策 1-②「ニーズの掘り起こしによる文化芸術の情報収集・発信の充実」において、文化芸術にかかる情報発信の充実として対応する。

基本目標 1-施策 1-⑤「文化芸術活動の場及び発表の場の提供」において、活動の場を提供するなかで情報収集の仕組みを研究し対応する。

ご意見 3

インターネットを活用した情報発信を強化してほしい。

【対応】

基本目標 1-施策 1-②「ニーズの掘り起こしによる文化芸術の情報収集・発信の充実」及び基本目標 1-施策 2-③「歴史的文化遺産の情報発信の充実」において、SNS を活用した情報発信を導入し対応する。

ご意見 4

基本目標 1-施策 1-①「鑑賞事業や文化芸術を身近に接する機会の提供」のリード文 4 行目の「良質な」との文言はとらえる時代や主体により変化が生じるため、「様々な」に変更してほしい。

【対応】

以下のとおり修正します。



ご意見 5

紙媒体での広報の需要も高いため、長期的・短期的に紹介する広報手法を研究し実施してほしい。

【対応】

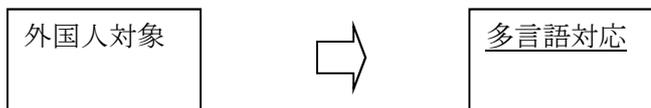
基本目標 1-施策-②「ニーズの掘り起こしによる文化芸術の情報収集・発信の充実」において、紙媒体の広報は、広報手段を研究し、実施する。

ご意見 6

基本目標 1-施策 1-④「高齢者、障害者の文化芸術活動野促進」の事業において「外国人」との文言は、事業の内容から「多言語化」等の文言に修正すべきである。

【対応】

以下のとおり修正します。



ご意見 7

文化振興基金の寄付金について、企業が協力しやすい仕組みを作って実践すべきである。

【対応】

基本目標 1-施策 2-①「市民・企業との協働」において、企業が協力したくなるメリットを取り入れられるように研究するほか、その仕組みを明確にした事業に変更し対応する。

ご意見 8

利用率が低い施設は、利用率を上げる策を講じるべきである。

【対応】

基本目標 3-施策 6 において、利用方法の広報周知を改善するほか、受付方法の工夫を研究し対応する。

ご意見 9

公民館の日曜日の利用時間の延長を希望する。

【回答】

現在のところ、平日夜間と比較し、土・日曜日の施設利用状況が低いため、日曜日の利用時間を延長することは困難である。

ご意見 10

基本目標 2-施策 3-②「若手芸術家の支援」のリード文 1 行目の「呼び込む」は市内の若手に対する視点が欠けていると感じられることから修正してほしい。

【対応】

市外からの人材の引き寄せ、定着できるよう、また、現住の若手作家の発表の場の提供につながる取組みとして対応する。

文言は、以下のとおり修正します。

文化芸術を長く市に振興していくためには、市内に若手芸術家を呼び込むことが鍵となります。それは、今後、若手芸術家は、次世代の文化芸術活動の振興を牽引していく存在となり、市の文化芸術を高めていく大きな力を秘めているからです。



文化芸術を長く市に振興していくためには、市内外における若手芸術家の存在が重要です。それは、今後、若手芸術家が、次世代の文化芸術活動の振興を牽引していく存在となり、市の文化芸術を高めていく大きな力を秘めているからです。

ご意見 1 1

基本目標 2-施策 3-②の新鋭作家展の企画運営は改善すべき点が多い。

【対応】

展示方法・審査方法等を見直し、事業内容について検討する。

ご意見 1 2

市内小学校の鼓笛隊の活動数はどれくらいか。また、実績状況はどうか。

【回答】

平成 2 9 年度、市内小学校の活動数は 5 2 校中 4 5 校であり、一律 3 万円助成している。